

## 令和6年度第5回陸前高田市津波避難計画策定アドバイザー会議 議事要旨

- 開催日時 令和6年12月22日（日）午前9時30分から午後1時10分まで
- 開催場所 陸前高田市消防防災センター2階 防災研修室
- 出席委員 牛山素行委員長、加藤孝明委員、関谷直也委員  
中村吉雄委員、福留邦洋委員
- 配布資料  
災害情報、地震情報の研究
- 経過概要
  - 1 次第の2「北海道・三陸沖後発地震注意情報について」について、関谷委員から説明が行われ、委員による意見交換が行われた。主な意見は、次のとおりである。
    - ・ 同じ市内で学校毎に対応にばらつきがでないよう、担当部局に働きかけをお願いしたい。
    - ・ 冷静にもう1回専門家の中でも、共通の理解をした上で、どう社会に周知していくのかを、市レベルではなくて、もう少し上位レベルで議論したほうが良いかなとは思っている。
    - ・ 3月9日の前震をどう生かすことができるかが、この情報のもともとの趣旨で、こちらの地域では、前震のときにどう対応を取れば良いのかを、しっかりと呼びかけることができるかどうかで、メッセージとしては受け取り方が異なる。
    - ・ 東日本大震災の教訓だけではなく、津波や地震災害に対して、常に注意を怠らずに、改めて注意喚起するきっかけとして、この後発地震注意情報を使い、過敏ではないけども或いは時々あるものとして、緩やかに受け入れていくような考え方が適切である。
  - 2 協議事項ア「高田地区津波避難シミュレーションの途中経過」について、加藤委員から説明が行われ、委員による意見交換が行われた。主な意見は、次のとおりである。
    - (1) 説明内容の概要
      - ・ 高田地区シミュレーション概要及び基本・対策・検証の各モデルの設定及び結果について
      - ・ 高田松原海水浴場の避難シミュレーションについて（追加検討）
    - (2) 委員による主な意見
      - ア 夢アリーナたかたについて
        - ・ 駐車場が満車に近づいてくると、駐車場待ちの車両が列をつくり、結果的に浸水想定区域に出てしまうということが課題である。
        - ・ 避難先を県立高田高等学校に分散させれば、浸水想定区域までの渋滞は解消されるとは言うものの、ある段階から県立高田高等学校の駐車場へ誘導を切り替えるというのは、かなりハードルが高いのではないかと。
        - ・ 夢アリーナたかた付近で渋滞し始めた場合には、県立高田高等学校にも入れることを、あらかじめ看板などで表示しておくことも考えられるのではないかと。
        - ・ 駐車場への収容の仕方によって結果が変わってくるという課題もある。これまで駐車場の奥から順番に詰めていって、最後に手前の方の切り返し等で影響が出てくるという設定だが、最初から手前に停車する人が出てしまうことも考えられる。

また、ランダムに停車した場合、本当にその計算通りの台数が収容できるのかなど、駐車場の止め方が悩ましいところで、夢アリーナたかたは特に影響が大きいのではないかと。

- ・ 夢アリーナたかたと県立高田高等学校、両方使うという形で一旦シミュレーションを行い、すべての対策をつぎ込んだ後に、駐車マス問題を入れ、それでもなお余裕があるのか確認をしていく。

#### イ アバッセたかた周辺について

- ・ アバッセたかた周辺と高田松原津波復興祈念公園からの車両の動線が交わるところで、問題が生じるため、アバッセたかた周辺からの自動車避難を相当数減らす必要がある。
- ・ アバッセたかたからの自動車避難はやめるという計画も考える必要がある。
- ・ アバッセたかたの買い物客等には、本丸公園の階段を上れない高齢者や障害者もいるので、車避難を全く無くすることはできないため、どの程度なら車の避難をしても余裕があるのかということも、シミュレーションをしなければいけないと考えている。

#### ウ 避難施設について

- ・ 人の命を守ることが一番のコンセプトで、実際に安全に避難することができるかどうかをシミュレーションで見て、様々な方法を試しながら、安全に避難が可能な方法が明確になれば、その方法を周知して避難を徹底していく。ただし、様々な方法を試した結果、絶対に逃げ遅れてしまうという状況が明らかになった場合には、その場所に命を守る施設の建設が必要だという議論になる。
- ・ 避難計画を作るときには、一定の品行方正な人たちを想定して避難計画がまとまるが、実際にはそうでない状況は起こりうるので、それについてはフェールセーフをいかに何重も作ってるのかっていうところが次のステージで、その次のステージで、万が一に備えた施設を作っていくって議論になる。

#### エ 高田松原海水浴場

- ・ 高田松原海水浴場については、駐車場から遠い位置にいる人が問題なので、例えば駐車場からは離れて遊ばないとか、遊泳禁止区域等を作るとか、近い駐車場を別途作る等の対策が考えられる。
- ・ 車の移動のシミュレーションと、海水浴場のシミュレーションは、それぞれ独立で考えた方がよい。海水浴場は、第1波が来る前に利用者が駐車場の車に乗ることを目標に対策を打つことが必要である。

3 事務局から、第6回会議日程について、改めて日程調整を行うこととして報告を行った。